

# 協働 フラッシュ

発行所 札幌市北区篠路町福移 147 番地 36 社会福祉法人 札幌協働福祉会

## 「第5回拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会」開く。

2010/7/17

「拓北・あいの里  
地区センター」で

■2010年7月17日(土)午後、「拓北・あいの里地区センター」を会場に

「第5回拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会」が開かれました。

冒頭、福井一之氏から開会の挨拶があり、みんなでより良い支援の方法を学んでいく場としてまた今回上映される映画「ぼくはうみがみたくなりました」を通じ自閉症についての理解を深めて頂きたいとの内容が話されました。映画上映後は自閉症について、その研究に永年取り組まれてこられている伊藤則博先生と森範行先生の両氏をお招き講演を頂きました。



■映画「ぼくはうみがみたくなりました」上映会



■和やかな表情で講演される伊藤則博先生



上映会終了後の講演会では、伊藤先生からは「自閉症問題の今昔」と題して、自身が自閉症と出会うことになった児童相談所の勤務時代から現在までの長い経験で積み上げてこられた豊富な資料を基に講演をして頂きました。その最後に「50年の研究が何だったのかと自問している、悩みの多いテーマです。今、本格的な研究の再開を望んでいます」と自身の気持ちを述べられ講演を締めくくりました。

森先生からは「アスペルガー症候群の理解と対応」というテーマで講演頂きました。其の特徴的な症状例を幾つも紹介されました、また伊藤先生と同様に「時代の流れの中で障害感も変わって来ているのかなとも思います」とも述べられていました。会場には協働福祉会職員の他に地域からの参加も多数あり100名を超える人達が熱心に講演に聞き入りました。



■「アスペルガー症候群について講演される森範行先生